3年	通年	物理基礎	履修形態	3A選択生徒
			履修単位	2単位
科目の目標			教科書	物基319 新編物理基礎 (数研出版)
日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を身につけるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。			副教材等	なし
			履修条件	選択履修科目
学習内容				
物理を学ぶことを通して、基本的な数学計算の方法と能力を身につける。また、物体の運動を数式で表現できるとともに、物体にはたらく力を見つけ、運動方程式を立てられるようになる。				
基礎的な学習を苦手とする生徒への指導上の工夫等			毎時間ノートを点検し、公式が書けているか、計算ができているかを確認する。	
評価方法			定期考査、提出物、授業中の態度。	

授業計画（学習内容・学習活動・ねらい及び評価のポイント）				
期	月	学習内容（単元名）	学習のねらい・目標	
前期	4	第1編 運動とエネルギー	<p>日常に起こる物体の運動を観察、実験などを通して探究し、それらの基本的な概念や法則を理解し、運動とエネルギーについての基礎的な見方や考え方を身につける。</p> <p>身近な物理現象について、物理量の測定と表し方、分析の手法を理解する。</p>	
	5			
	6			
	7			
後期	9	第2編 熱 第3編 波 第4編 電気	<p>熱に関する現象を観察、実験などを通して探究し、それらの基本的な概念や法則を理解し、熱についての基礎的な見方や考え方を身につける。</p> <p>波に関する現象を観察、実験などを通して探究し、それらの基本的な概念や法則を理解し、波についての基礎的な見方や考え方を身につける。</p> <p>電気や磁気に関する現象を観察、実験などを通して探究し、それらの基本的な概念や法則を理解し、電気や磁気についての基礎的な見方や考え方を身につける。</p>	
	10			
	11			
	12			
1				
学習評価の観点別規準と評価方法				
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度・意欲
評価基準	法則や原理を理解し、そこから計算する方法がわかる。 それぞれの現象について、性質を理解する。		物理現象と日常生活を関連付けて考えることができる。	さまざまな物体の運動に興味を持ち、力の性質や力が働いた時の物体の運動を調べようとする。また、それぞれの物理現象について興味を持ち、それについて調べようとする。
評価方法	学習態度の観察 ノートの記述 定期考査の結果		学習態度の観察 ノートの記述 実験・観察 定期考査の結果	学習態度の観察 ノートの記述
学習サポート（選択をする生徒への助言）				
<p>板書を丁寧に書く。（提出・点検し点数化します）</p> <p>実験レポートを丁寧に完成させること。</p> <p>テストを休まないこと。</p>				